

Q.3 飛蚊症に気がついたのは最近？

<解説>

「以前から見える『浮遊物』の数や形に変化がなければ安心！？」

母体内で胎児の眼球がつくられる途中では、硝子体に血管が通っていますが、眼球が完成するとこの血管はなくなっていくのがふつうです。しかし、生まれたのちも血管の名残りが硝子体に残存すると、これが“濁り”となって飛蚊症の症状を感じる場合があります。

このタイプの飛蚊症は、生理的なもので健康な目にも起こる現象ですから、症状が進まないかぎりにはあまり気にしなくてもいいでしょう。

<アドバイス>

飛蚊症の症状に気がいたら、その原因が生理的なものか、病気なのかを自分で判断せず、眼科で検査を受けましょう！